



平成 22 年 7 月 26 日

高砂荏原式ターボ冷凍機が「機械遺産」認定

高砂熱学工業株式会社

高砂熱学工業（株）総合研究所（神奈川県厚木市飯山 3150）に保存・設置されている現存する最古の高砂荏原式ターボ冷凍機がこのほど、社団法人・日本機械学会（東京都新宿区・松本洋一郎会長）の「機械遺産」に認定されましたのでお知らせいたします。

ターボ冷凍機は 1930 年（昭和 5 年）に国内で初めて試作機として完成。圧縮機、クーラー（冷却器）、コンデンサー（凝縮器）で構成され、高砂荏原式ターボ冷凍機と命名されました。第 1 号・2 号機は 31 年、大阪市の朝日ビルに設置。同ビルは全館空調、温湿度制御、遠隔制御などの設備を持ち、当時の最新技術を結集した画期的な施設となりました。

現存する最古のターボ冷凍機は 1937 年に六桜社（現・コニカミノルタホールディングス）日野工場に納入、74 年に撤去されるまで使用されたものです。

なお、高砂荏原式ターボ冷凍機の認定理由は「冷凍機の完成は、人造絹糸（レーヨン）の発展時期とほぼ同じくし、百貨店や劇場などの大型建築物の新築が盛んになった時期とも重なるため、これらの建物に数多く導入され、わが国の空気調和の発展に寄与した」とされています。

「機械遺産」は 2007 年 6 月、日本機械学会の創立 110 年の記念事業の一環として認定が開始され、今回で 4 回目を迎えた 2010 年度「機械遺産」は以下の 6 件が認定されました。

- ・としまえん「カルーセル エルドラド」 (東京都練馬区)
- ・旧金毘羅（こんぴら）大芝居の廻り舞台と旋回機構 (香川県琴平町)
- ・たま電気自動車（E 4 S-47 I） (神奈川県横浜市)
- ・内燃機関式フォークリフト (滋賀県近江八幡市)
- ・高砂荏原式ターボ冷凍機 (神奈川県厚木市)
- ・自動改札機 (京都府京都市)

「機械遺産」の認定式は 8 月 7 日（土）「機械の日・機械週間」記念行事（トヨタテクノミュージアム産業技術記念館大ホール）で行われる予定です。

〔高砂荏原式ターボ冷凍機の設置場所〕

高砂熱学工業総合研究所

住所：〒243-0213 神奈川県厚木市飯山 3150

電話：046-248-2752

開館時間：午前9時から午後4時（入館は午後3時半まで）

開館日：平日（年末年始・盆は休館）

入館料：無料（事前予約が必要）

交通機関：小田急線本厚木駅から神奈川中央交通のバスで約20分

ホームページ：<http://www.tte-net.co.jp/development/>

詳細につきましては、社団法人日本機械学会のホームページをご参照ください。

ホームページ：<http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/index.html#>

以上

報道関係の方からのお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社 総務本部総務部広報課 中村、箱

〒101-8321 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5

Tel(03)3255-8212 Fax(03)3251-0914